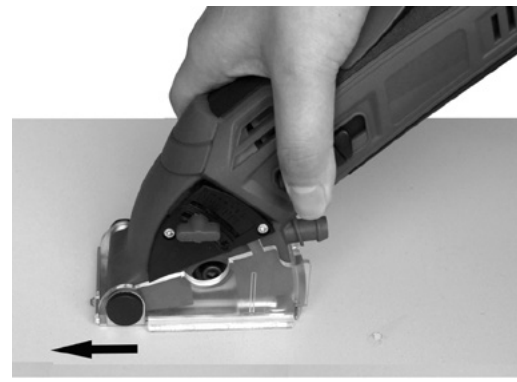


7.4 切れ目を入れる

固い材料に切れ目を入れるのはとても困難な場合があります。

- 切り込み深さを調整し(6.3をご覧ください)、電源プラグを差し込み、ベースを材料に当ててください。
- スイッチを入れ、ブレードの回転が完全に上昇し安定するまで数秒お待ちください。ゆっくりと下側へ押し込みながら、刃をゆっくり素材に差し込んでください。そのまま静かに前方へ進め、切り終わるまでこの状態を保ってください。ブレードが素材に密着している間、本製品を後方に動かさないでください。切断途中で本体を戻そうとする場合、その位置でスイッチを切り、回転が完全に止まってから本体を持ち上げるようにして戻してください。
- 切り終わったらスイッチを切り、素材からブレードをゆっくりと抜いてください。



7.5 切りにくい素材の切断、大量のダストを発生する素材の切断

切りにくい素材を切る前に、やわらかい素材や木材などで電動のこぎりの使い方を確認し、慣れておいてください。金属やプラスチックを切る場合はやわらかい素材よりも、多少の圧力をかける必要があります。



警告

- ・プラスチックやアスベストを含む有害なダストを発生する素材には使用しないでください。
 - ・加工対象となる金属は、アルミ板や軟鋼板を想定しています。切断能力以上の硬い金属板や金属のかたまりなどには使用しないでください。
- <金属板を切る場合>
- 金属を切る場合には、下の素材を傷付けないよう実際の素材の厚みと同じ切り込み深さに調整してください。
 - 素材の表面からキズや錆を取り除いてください。電動のこぎりをよりスムーズに使用できます。
 - 金属板を切る際は、2分おきに一旦停止し、3分間休ませてください。
- <セラミックタイルやその他のタイル素材を切る場合>
- 専用のブレードを使用してください。
 - 電動のこぎりをダスト排出のため、集じん機(または掃除機)などに繋げてください。作業中に発生するダストは刃を詰まらせ、体に危害を及ぼす恐れがあります。
 - キズ防止のためにガムテープなどをベースに貼ってください。
- <石膏壁を切る場合>
- 本製品で石膏壁を切ることは可能ですが、用途は限られています。切り込みを入れる場合のみご使用ください。使用時は必ず本体を集じん機(または掃除機)にダスト排出ホースでつないでください。

8. お手入れと保管



警告

電源プラグをコンセントから抜き、保護手袋を付けて、ブレードを本体から取り外してからお手入れをしてください。

8.1 お手入れ

- 通風口やブレード取付け部などに付いたゴミ、ホコリを取り除く
- 乾いた、柔らかい布で本体の汚れをふき取る
- 使用後に必ずクリーニングを行ってください
- 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。
お水が本体の内部に入らないよう、ご注意ください。

8.2 保管

- ・ご使用後は、きちんと保管してください。
- ・子供の手の届かないところ、または鍵がかかる所に置いてください。
- ・風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かないでください。
- ・直射日光が当たったり、高温になるような場所に置かないでください。
- ・ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かないでください。

廃棄について

廃棄処分の際は、各地域・自治体の廃棄物処理規定に従い、それぞれ適切な方法で処分を行ってください。



株式会社 e-chance

〒140-0013 東京都品川区南大井3-24-13

Copyright ©K.K. e-chance All Rights Reserved.

ROTORAZER[®] SAW

ロトレーザー取扱説明書

この度は、ROTORAZER<ロトレーザー>をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、必ず保管し、今後必要の際には、その都度ご覧いただきますよう、お願い申し上げます。

目次

- | | |
|------------|------------|
| 1. 記号の説明 | 5. 仕様 |
| 2. 安全上のご注意 | 6. ご使用前の準備 |
| 3. 本製品について | 7. ご使用方法 |
| 4. 用途 | 8. お手入れと保管 |

<ご注意>

ご使用前に、必ず本取扱説明書をすべてお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
本製品を正しく安全にお使いいただき、事故・損害を未然に防ぐため、特に注意・警告事項を熟読・ご理解されとともに、使用時は常に手元において活用し、正しく、安全に、末永くご愛用くださいませ。説明書の内容を無視した使用は、重大な事故につながる危険性がございます。お読みになった後は、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。また、貸し出す際は取扱説明書も同時に貸し出してください。

1. 記号の説明



☐ 二重絶縁構造について

二重絶縁とは、電気回路と使用者の間が異なる2つの絶縁物により絶縁され、感電に対する安全性が高くなった構造を言います。このためアース(接地)する必要がありません。



警告

この表示を無視し、誤った扱い方をすると、事故によって死亡または重傷を負う可能性が想定されます。



注意

この表示を無視し、誤った扱い方をすると、事故によって傷害を負う可能性および物的損害が発生する可能性が想定されます。

重要

・取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、製造者・販売者は一切の責任を負いません。
・お客様の不注意による破損・故障・ケガ・事故・火災に関して、製造者・販売者は一切の責任を負いません。

2. 安全上のご注意


2.1 作業場の環境について





警告

- ・作業場は、いつもきれいに保ってください。ちらかった場所や作業台は事故の原因となります。
- ・十分に明るい場所で作業を行ってください。
- ・使用中や保管中に本製品を濡らさないでください。また、雨ざらしにしたり、湿気の多い所で使用したり、濡れた場所で使用しないでください。
- ・可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。ガソリンなど、引火性が高いものや、紙などのもえやすいものの近くで使用しないでください。
- ・子供や作業に関係ない人、ペット(動物)を近付けないでください。作業員以外、本製品や電源コードに触れさせないでください。作業員以外、作業場へ近付けないでください。



2.2 電気用品の安全に関する事項

 警告	<ul style="list-style-type: none"> ・使用電源は、必ず定格銘板(ラベル)に表示してある電圧でご使用ください。 ・プラグを変形させないでください。また、接続プラグは使用しないでください。 ・付属品やアタッチメントは専用品のみをご使用ください。 ・本製品を使用中、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などアースされているものに身体を接触させないようにしてください。 ・コードを乱暴に扱わないでください。コードを持って本体を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。コードを熱、油、角のどがった所に近づけないでください。 ・電源コードにキズをつけないでください。 ・電源コードを束ねたままで使用しないでください。火災の原因になります。 ・取扱説明書に記載されている用途、または能力以上の作業に使用しないでください。 ・屋外で使用する場合、屋外使用に合ったキャプタイヤコード、又はキャプタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
---	--


2.3 ご使用に際して

 警告	<ul style="list-style-type: none"> ・本品は、電動のこぎりです。ご使用の際は、十分注意して作業を行ってください。 ・取扱方法、作業方法、周りの状況などに充分注意しながら慎重に作業をしてください。 ・病中、疲れている場合など、判断が鈍るおそれがある場合は、使用しないでください。 ・作業に適した服装でご使用してください。作業服、保護めがね、防じんマスク、安全靴、保護手袋、ヘルメット、防音保護具(耳栓・イヤーマフラー)などを適宜着用してください。 ・ゆったりした衣服やネックレスなどの装飾品、だぶついた軍手など、回転部に巻き込まれるおそれがあるものは着用は避けてください。また、頭髪などの巻き込みにご注意ください。 ・お子さまに使用させないでください。また、作業中はお子さまを近づけないようにしてください。 ・本体、ブレード、その他の付属品に損傷がないかを十分点検、確認してください。 ・電源プラグをコンセントに挿しこむ前に、必ず、スイッチがオフになっていることを確認してください。 ・電源プラグをコンセントに挿しこんだ状態で、スイッチに指を掛けて持ち運ばないでください。 ・電源プラグをコンセントに差し込んだまま、作業場を離れたり、放置しないでください。 ・電源プラグをコンセントに差し込んだまま、保護カバーに触れないでください。 ・作業開始前に本体スイッチのオン・オフが正常に機能するかを確認してください。その際、異常を感じる場合は使用しないでください。また、使用中に異常を感じた場合は、直ちに使用を中止してください。 ・作業時は周囲に注意し、近くに人がいないことを確認してください。 ・本体を確実に保持して作業を行ってください。 ・切断・加工する材料は安定性のよい台に置いて作業してください。 ・切断・加工する材料は、クランプや万力などを適宜利用し、しっかりと固定してください。 ・ブレードが電線管・水道管やガス管などの埋設物に触れると感電やガス漏れなどの恐れがあります。作業台の下や加工材料周辺に埋設物がないかどうか充分確認の上、作業を開始してください。 ・無理な姿勢で作業をしないでください。常に足元を安定させ、バランスを保つようにしてください。 ・使用中は回転部やダスト排出機器コネクタに手や顔などを近づけないでください。 ・切断しようとする材料の前方や下方に手を置かないでください。 ・回転中のブレードには絶対に触れないでください。 ・ブレードを人に向けてないでください。重大な事故やケガの原因になります。 ・アスベストが含まれている材料の加工作業に使用しないでください。 ・切りくずが多く発生する材料を加工する場合は、ダスト排出ホースのご使用をお勧めしております。 ・ブレードの切断能力以上の硬さの物や、太すぎるパイプ、大きすぎる木材などの加工には無理して使用しないでください。 ・使用中に誤って本体を落としたり、ぶつけたりした時は、破損や変形などが無いことを良く確認してから作業を再開するようにし、異常がある場合は使用を中止してください。 ・使用しないときは、必ず本体の電源をオフにし、高温多湿を避け、お子さまの手の届かない安全なところまたは鍵のかかる所に保管してください。
 注意	<ul style="list-style-type: none"> ・切断・加工する材料に適したブレードを使用してください。 ・ブレードやダスト排出ホース等の付属品は、取扱説明書に従って確実に取りつけてください。 ・ブレードを取りつけに使用したレンチは、電源プラグをコンセントに挿しこむ前に、必ず本体から取りはずしてください。 ・ブレード調整ツマミを用いて切断・加工する材料に適した切り込み深さになるようにしてください。 ・加工直後の材料や切りくずは熱を持っている場合がありますので、充分ご注意ください。

2.4 使用とメンテナンス

 警告	<ul style="list-style-type: none"> ・使用後は速やかに本体のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 ・ブレード、その他付属品を交換する場合は必ず本体のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてから作業を行ってください。 ・安全に能率よく作業していただくために、ブレードは常に手入れをし、良く切れる状態を保ってください。 ・使用中のブレードが切れなくなってきたり、割れ・ヒビが見つかったり、欠けたりした場合は、使用を中止し、速やかに新しい刃と交換してください。 ・電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は使用しないでください。 ・持ち手の部分は常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリスなどが付着しないようにしてください。 ・故障の際の修理は専門家に依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理をすると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。 ・次の場合は、速やかに使用を中止し、スイッチをオフにした後、電源プラグをコンセントから抜いてください。- 電源プラグ、又はコードが傷ついたり破損した場合。- スイッチが破損した場合。- その他危険が予想される場合。- 使用中に本体が異常に熱くなったり、異常音がしたり、スイッチが切れなかったり、ブレードの回転に異常が見られた場合は、直ちに使用を中止し、電源プラグを抜いてください。
 注意	<ul style="list-style-type: none"> ・ブレードの着脱は付属のレンチ以外の工具は使わないでください。締め過ぎや締め付け不足となる可能性があります。 ・ブレード、その他付属品を交換する場合は必ず手袋などで手を保護してから行ってください。 ・使用後、本体や部品が熱を持つことがあります。特に金属部分は熱くなりやすいのでご注意ください。

2.5 反発力の原因と予防

 警告	<ul style="list-style-type: none"> ・ブレードが確実に取り付けられていない場合、また、ブレードが詰まっている場合、強い反発力が生じけがの原因になります。 ・切断途中で、ブレードが切り口に挟まると、強い反発力が生じ、けがの原因になります。必ず、次のような予防措置を行ってください。 <ol style="list-style-type: none"> a) 反発力を抑える為、グリップ部分を確実に握って作業を行ってください。尚、作業中は体がブレードの横に来るような位置で作業を行ってください。(もし強い反発力が生じた場合、ブレードは後方に反動します。) b) 刃が詰まったり、作業を中断する場合は速やかにスイッチを切り、回転が完全に止まってから本体を持ち上げるようにして、刃の詰まりを解消してください。(ブレードの回転が停止する前に溝から抜こうとすると強い反発力が生じる可能性があります。) c) 切り落とし寸前や切断中に、材料の重みでブレードがはさみつけられないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。 d) 加工物の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性のよい台を設けてください。 e) 損傷している刃や、切れ味の落ちた刃は使用しないでください。 f) 作業を始める前に、切り込み深さと角度を調整してください。(作業中に調整をした場合、刃が詰まり、強い反発力が生じます。) g) 壁や届きにくい場所に切り込みを入れる場合は注意して作業を行ってください。(刃が障害物に当たった場合、強い反発力が生じます。)
---	---

2.6 保護カバーの安全確認

- a) 使用前に、保護カバーが確実に閉まることを確認してください。保護カバーが自由に動かない場合、すぐに閉まらない場合は使用しないでください。(保護カバーが自由に動くこと、刃やその他刃物類に接触しないことを確認してください。)
- b) 保護カバーのバネが正常に作動しているかを確認してください。バネや保護カバーに異常がある場合、使用を中止してください。
- c) 垂直に切り込みを入れる場合は、ノコ刃が横に動かぬよう、ベースプレートに圧力をかけてください。(横に動いてしまうと刃が詰まり、強い反発力が生じます。)
- d) 保護カバーが正常に作動するかを確認しないまま、本体を床など置かないでください。(むき出しのまま刃が回転すると慣性により、置かれた本体が動く恐れがあり、けがや損傷の原因になります。刃の回転が完全に止まるまでは、多少時間がかかります。)

2.7 その他のリスク

取扱説明書の指示に従って正しく使用しても、本製品の構造・デザインにより、下記のリスクがあります。

- 防じんマスクを使用しない場合、粉じん等を吸い込むことにより、肺へ傷害を与える恐れがあります。
- 防音程具を着用しない場合、騒音により、聴覚へ損傷を与える恐れがあります。
- 長時間の使用は、手や腕から伝わる振動により体に危害を与える恐れがあります。
- ブレードの交換などの際、刃が鋭いため、手袋などで手を保護しない場合はけがの原因になります。



本製品の使用中には、磁力や電磁波が発生いたします。この為、ご使用の精密機器または医療機器の正常な機能に支障が出る恐れがあります。医療機器を身につけられている方や使用中の方は、本製品の使用前にかかりつけ医へのご相談をおすすめいたします。

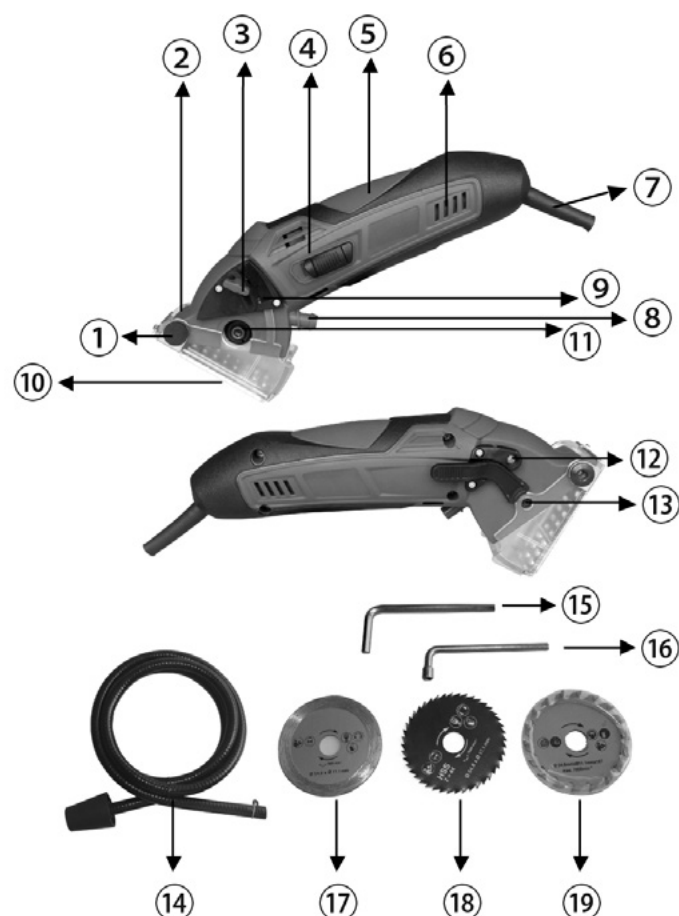
騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

3.本製品について

3.1 各部の名称

- ベースプレート
- 保護カバー
- ブレード調整ツマミ
- オン/オフスイッチ
- グリップ
- 通風口
- 電源コードと電源プラグ
- ダスト排出機器コネクタ
- ブレード調整用メーター
- ブレード取り付け口
- 内部ヘックスヘッドボルト(左)保護カバー
- ブレードストッパー
- ヘックスボルト(右)
- ダスト排出ホース
- ヘックスレンチ(5mm)
- ヘックスソケットレンチ(3mm)
- ダイヤモンドブレード
- 高速度鋼製ブレード
- 炭化タングステンブレード



3.2 セット内容

- 高速度鋼製ブレード、54.8mm×11.1mm、山数30(アルミニウム用)
- 炭化タングステンブレード、54.8mm×11.1mm、山数18(木材・カーペット・布・紙用)
- ダイヤモンドブレード、54.8mm×11.1mm(セラミックタイル用)
- ダスト排出ホース、長さ1.65m
- ヘックスソケットレンチ、3mm
- ヘックスレンチ、5mm
- 専用ケース

4.用途

本製品は木材、生木の切断、プラスチック板、カーペット、布、厚紙、軟鋼板、アルミ板、セラミックタイルなどの切断に適した電動のこぎりです。本製品を、アスベストが含まれている素材の切断に使用しないでください。

本製品は家庭用の電動工具です。取扱説明書に記載されている用途以外や、業務用に使用しないでください。

本製品の使用による損傷や損害は作業者の責任となります。

5.仕様

5.1 本体の仕様

電圧	100V~, 50/60Hz	音量	
消費電力	300W	音圧レベル	81.1dB(A) (誤差3dB)
回転数	3100/min	音源出力レベル	92.1dB(A) (誤差3dB)
最大切り込み深さ	12mm		
ノコ刃寸法	54.8mm		
使用できるノコ刃の外径	11.1mm		
重量	1.2kg		

5.2 各ブレードの仕様

・金属(アルミニウム)用のスチールブレード 用途:金、銀、銅、真鍮、鉄(軟鋼)、鉛 など 材質:スチール(高速度鋼)	・木材用のタングステンブレード 用途:木材、プラスチック、カーペット など 材質:スチール(カーボン鋼+タングステン鋼)
--	--

・セラミックタイル用のダイヤモンドブレード 用途:タイル、セラミック など 材質:スチール/ダイヤモンド(マグネシウム鋼+ダイヤモンド/スチール砥粒)	○直径:約5.5cm ○生産国:中国
---	-----------------------

6. ご使用前の準備

6.1 専用ケースから取り出す

- 箱の中に全ての部品が揃っていることを確認してください。
- 専用ケースを空け、慎重に本体を取り出してください。
- 本体、及び付属品に破損がないことを確認してください。



本製品及び梱包材はおもちゃではありませんので、事故を未然に防ぐため、お子さまの手の届かないところに保管してください。また、本製品には小さな部品も含まれます。お子さまが飲み込んでしまわないよう、十分にご注意ください。

6.2 ブレードを取り付ける・取り外す

■内部ヘックスボルトの取りはずし

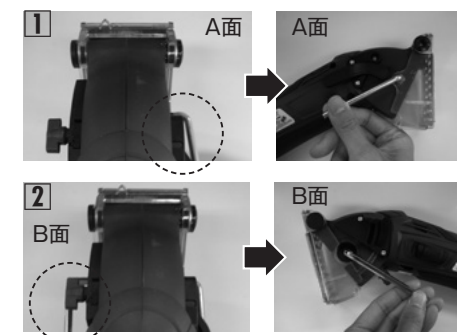


必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。


本セクションで使用するもの

- ①口レーザー本体
- ②3mmヘックスソケットレンチ
- ③5mmヘックスレンチ

- A面側のヘックスボルトに3mmヘックスソケットレンチを差し込みます。
- B面側の内部ヘックスボルトに5mmヘックスレンチを差し込みます。
- 3mmヘックスソケットレンチを抑えながら、5mmヘックスレンチを時計回りに回転させ、内部ヘックスボルトゆるめ、取りはずします。



■ブレードのセット

 警告	必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
---	----------------------------


本セクションで使用するもの

- ①ロトレーザー本体
- ④各種ブレード

1. ブレード調節ツマミをゆるめます。
2. 左手で本体を支えながら、右手のひらで安全レバーを押さえ、保護カバーのロックを解除します。
3. 右手の指で保護カバーを矢印方向へ上げ、本体へ密着させます。
4. B面を上にした状態で、保護カバーのスリットからブレードを差し込みます。この時、ブレードの印刷面が表向きになるように差し込みます。
※写真ではダイヤモンドブレードをセットしております。
※必ずカットする材料に適したブレードをご使用ください。
5. ブレードの穴と内部ヘックスボルト差し込み口を合わせてブレードをセットします。
6. ブレード中央に印刷してある矢印の方向と、本体に記してある矢印の方向が一致していることを確認し、右手の指で押さええていた保護カバーを離し、定位置に戻します。



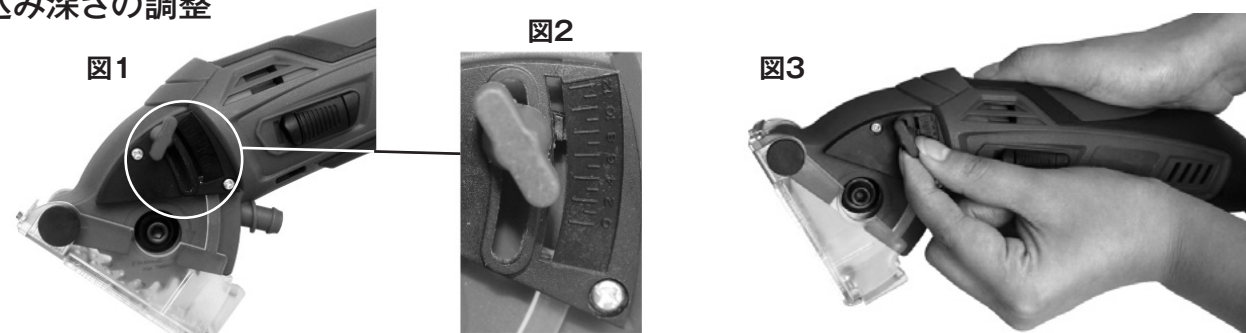
■ブレードの固定

 警告	必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
---	----------------------------

1. 内部ヘックスボルトを差し込み口に戻します。
2. 5mmヘックスレンチを使用し、内部ヘックスボルトを反時計回りに回転させ、仮止めします。
3. A面側のヘックスボルトに3mmヘックスソケットレンチを差し込みます。
4. 3mmヘックスソケットレンチを抑えながら、5mmヘックスレンチを反時計回りに回転させ、仮止めしていた内部ヘックスボルトを締め、ブレードを固定します。



6.3 切り込み深さの調整



切り込み深さはブレード調整ツマミで調整することにより、変えることができます。※調整つまみ…図1

- a) ブレード調整ツマミ(3)をゆるめ、適した深さの分だけ刃がベースプレートから出るように、ブレード調整ツマミを動かしてください。(図2)。
- b) 位置が決まりましたら、調整ツマミをしっかり締め付けて固定してください。(図3)



<ワンポイント・アドバイス>

1. 木材を切る場合、最適な結果を出すには実際の素材の厚みより少し深い切り込みになるよう、調整してください。
2. プラスチックを切る場合には、実際の素材の厚みより少し深い切り込みになるよう、調整してください。素材が熱で溶け始めた場合、切り込み深さを増加してください。
3. 金属を切る場合には、下の素材を傷付けないよう実際の素材の厚みと同じ切り込み深さに調整してください。ただし、この場合は切る素材の裏面が汚れてしまう恐れがありますので、ご了承ください。
4. 使用中、刃やベースプレートを無理に下方向に押さえつけないでください。加重によりブレード調節つまみの破損の原因となります。

6.4 ダスト排出ホースの取り付け

・切りくずが多く発生する材料を加工する場合は、ダスト排出ホースのご使用をお勧めしております。

- a) ロトレーザー本体のダスト排出機器コネクタ(⑧)の先端をダスト排出ホース(⑭)の固定用クリップ側に挿入してください。
- b) 固定用クリップを用いて、ダスト排出機器コネクタから(⑧)ダスト排出ホース(⑭)が抜けないように、しっかりと留めます。この時、固定用クリップの先端が保護カバーの稼働域に入らないように注意してください。
- c) 保護カバーが自由に動く事を確認してください。
- d) 円すい形アダプター側を集じん機(または掃除機)のホースを挿入し、接続してください。

 警告	ダスト排出ホースや、集じん機(または掃除機)の取り付ける際は、電源プラグから抜いてください。
 注意	細かい金属片を大量に吸引する場合は、集じん機をご使用ください。集じん機の使用法や切りくずなどについては、集じん機の取扱説明書をよくお読みください。

7. ご使用方法

7.1 電源スイッチの操作

- a) オン・オフスイッチ(4)を前にスライドして電動工具の電源をオンの状態にしてください。スイッチを前にスライドすると動作します。
 - b) 電源をオフにするには、オン・オフスイッチをオフの状態に戻してください。
- a) 電源プラグをコンセントに差し込む前に、製品の定格ラベルに記載の定格電圧・電流などが適したものであるかどうか確認してください。
 - b) 作動中はダスト排出ホースと家庭用掃除機を繋げてください。

7.2 ロトレーザーを使用する

1. 作業に最適な切り込みの深さにブレード調節ツマミをセットします。
※詳しくは取扱説明書5ページ「6.3切り込み深さの調整」をご覧ください
2. 材料を作業台(作業用テーブル、ワークベンチなど)にのせ、適宜、万力などで固定します。
3. 親指でオン・オフスイッチを操作できるように、本体を右手で持ちます。
※本体を左手で持つ場合は、人差し指でオン・オフスイッチを操作してください。
4. 保護カバーの底面を加工する材料に当ててください。
5. オン・オフスイッチを矢印方向にスライドさせ、電源を入れてください。ブレードが回転をはじめます。
※材料加工時はスライドさせたスイッチを親指は押さえおきます。指を離すと、スイッチがオフの位置に戻り、電源が切れます。
6. 右手人差し指で安全レバーを押さえ、保護カバーのロックを解除し、回転しているブレードをゆっくり材料に近づけ、カットを始めます。
※本体を左手で持つ場合は、親指で安全レバーを押さえてください。
7. 無理な力を入れずに、ゆっくりと一定のペースを保ちながら前方へ進め、材料をカットします。
※カット中は本体を後方に動かさないでください。
8. カット中は前方(ブレードの進行方向)および下方向に力を入れ過ぎないように(押さえつけ過ぎないように)注意します。
※必要以降に強く押さえつけすぎると、材料がうまく加工できないばかりか、ブレードやブレード調節ツマミの破損につながる場合もございますので、ご注意ください。



※矢印の方向にスライドさせるとスイッチがオンになります。(抑えている指を離すと、スイッチは自動的にオフの位置に戻ります。)

7.3 平行定規

正確にまっすぐ切断したいときや一定の幅で繰り返し切断したいときには平行定規を使用してください。

